

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：精神科

○研修協力施設

研修期間： 必修科（精神科）として4週間

	施設名
1	医療法人養生園 TAOKA こころの医療センター
2	社会医療法人 あいざと会 藍里病院
3	医療法人 青樹会 城南病院
4	徳島大学病院

I：一般目標（GIO：General Instructional Objective）

精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、精神症状・精神疾患についての理解を深め、初期対応ができるようになる。また、精神科医へ紹介が必要な状態を判断できる技術を習得する。

II：行動目標（SBOs：Specific Behavioral objectives）

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 診察法・検査・手技

- 1) 生物、心理、社会面から総合的に患者を理解することができる。
- 2) 頻度の高い症状（不眠、不安、抑うつなど）を経験し、初期対応の方法を学び、診断と治療に必要な情報を得られるような面接を行うことができる。
- 3) 救急を要する精神疾患に関する基本的な評価及び対応を適切に行うことができる。
- 4) チーム医療に必要な技術を身に付け、診療録を適切に作成することができる。
- 5) 使用頻度の高い向精神薬（抗不安薬、抗うつ薬、睡眠薬など）についての基本的な知識と用法と用量が理解できる。

III：学習方法（LS：Learning Strategy）

1) LS（方略）1：On-the-job training

- ・協力型臨床研修病院において研修を行う。
- ・入院患者の担当医として、指導医とともに診療を行う。
- ・外来患者の予診をとり、指導医の診察に同席する。
- ・回診、カンファレンスへ参加する。
- ・チーム医療の一員として他職種と協働する。

IV：学習評価（EV：Evaluation）

- ・研修医は、研修先の指導医から、適宜行動目標についてのフィードバックを受ける。
- ・研修医は、「到達目標および評価」用紙に、到達度評価を記入し、ローテーション終了時に、指導医へ提出する。また、到達度評価を PG-EPOC へ入力する。
- ・指導医は、総合評価と到達度評価を行う。